

企001	項目名	若者定住促進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【10次総の施策体系】1201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少・高齢化が進行する中、鳥取市が将来にわたって継続・発展していくため、若者定住につながる施策を積極的に展開することが求められている。平成31年3月より、婚活サポートセンターの会員対象等を麒麟のまち圏域に拡大した。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 結婚を希望する男女の「婚活」を支援することにより、結婚による若者定住を促進し、地域の人口増加を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 婚活サポートセンターの運営を委託し、以下の事業を実施する。 ・趣味・趣向に応じた10名～40名が参加する婚活イベントの開催 ・恋愛・結婚に関するアドバイスや仲介 ・婚活イベントを企画・運営する団体への支援		
前年度当初予算額	10,389	＜実 績＞ 婚活サポートセンターの活動実績等	
本年度要求額	10,339	運営費 登録会員数	
総務部長段階査定額	10,339	平成29年度 13,652千円 1,470人	
市長段階査定額	10,339	平成30年度 10,200千円 1,628人	
区分	本年度予算額	令和元年度 10,389千円(見込) 1,786人(令和元年12月末時点)	
財源内訳	国・県支出金 5,169	成婚数 累計19組(令和元年12月末時点)	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 5,170		
	計 10,339		
行財政改革課処理欄			

企002	項目名	総合計画策定事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】創生戦略室 0857-30-8014		
款 総務費	【10次総の施策体系】5301		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 第10次鳥取市総合計画を平成28年4月に策定し、本市の将来像の実現に向け、各施策を展開してきた。この基本計画期間が令和2年度で満了となるため、令和2年度は、これまでの事業の成果・課題等を踏まえつつ、「第11次鳥取市総合計画(基本構想期間：令和3年度～令和12年度、基本計画期間：令和3年度～令和7年度)」の策定に取り組む。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 令和3年度を初年度とする第11次鳥取市総合計画及びその重点施策である鳥取市創生総合戦略の策定に向け、市民・各団体・各附属機関など幅広く意見等をいただき計画づくりに反映させる。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	9,000	1 総合計画策定市民ワーキンググループ 総合計画を市民との協働により策定するため、市民ワーキンググループを設置し、総合計画素案の協議を行う。	
本年度要求額	5,741	2 意見・提言募集 市民・各団体、附属機関等からの意見・提言募集を行う。	
総務部長段階査定額	2,671	3 市民啓発 総合計画や創生総合戦略の策定についての市民啓発として、まちづくりフォーラムを開催する。	
市長段階査定額	2,671	4 庁内体制の整備 『すごい!鳥取市』創生本部、総合計画策定庁内プロジェクトチーム等	
区分	本年度予算額	＜実 績＞ 令和元年度 総合計画等策定支援業務委託費等 8,921千円(見込)	
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 2,671		
	計 2,671		
行財政改革課処理欄			

企003	項目名	若者による地方創生政策推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【10次総の施策体系】3101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 地方創生に係る取組に若者が積極的に参画することが求められており、若者会議事業を踏まえ、平成28年度から「とっとり若者地方創生会議」を設置している。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地方創生の主役となる若者の視点で、鳥取市創生総合戦略の柱である「若者の移住・定住の促進」を中心テーマとした企画の立案・実施に「とっとり若者地方創生会議」で取り組む。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 ○運営に当たっては公募・推薦による若者（大学生）メンバーを核とし、政策企画課がサポートしながら事業実施に取り組む。 ○5年目となる令和2年度においては、4年目で取り組んだテーマをもとに、各事業・企画への取り組みを進める。あわせて、次年度における活動方針を検討する。 ○若者の発想による自主的な活動を支援するため、補助金（100千円）を交付する。 ○任期を1年とし、再任は妨げないこととする。 ○年度末に成果発表会を行う。		
前年度当初予算額	640	＜実績＞ 平成29年度 485千円 会議22回・イベント企画等2回実施、マップ作成 平成30年度 516千円 会議26回・イベント企画等2回実施、ハンドブック作成 令和元年度 640千円 会議28回・イベント企画等2回実施（見込）	
本年度要求額	715		
総務部長段階査定額	715	その他財源の内訳	
市長段階査定額	715	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	143	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	572	繰入金	0
計	715	贈収	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

企004	項目名	麒麟のまち創生推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【10次総の施策体系】5201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市と県東部4町及び兵庫県香美町・新温泉町（通称：麒麟のまち圏域）では、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域を活性化し経済を持続可能なものとし、圏域住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするために、エリアセールス、観光振興や移住促進等に広域的に連携し取り組んでいる。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 観光振興、移住促進等に広域的に連携し取り組むことで、圏域を活性化し経済を持続可能なものとする。		
前年度当初予算額	350	【事業の内容・実績】 地方創生推進交付金等を活用し、観光振興・移住促進等の施策を実施する。 また、鳥取県東部1市4町及び兵庫県新温泉町の1市5町で因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏に掲げる90事業を展開し、圏域の持続的発展を図る。 併せて、圏域の生活基盤の充実と一体的発展に資する要望活動を行う。	
本年度要求額	431	＜実績＞ 平成29年度 1,857千円 麒麟のまち創生戦略会議4回開催 平成30年度 767千円 麒麟のまち創生戦略会議3回開催 令和元年度 350千円 麒麟のまち創生戦略会議3回開催（見込）	
総務部長段階査定額	426	その他財源の内訳	
市長段階査定額	426	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	426	繰入金	0
計	426	贈収	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

企005	項目名	シティセールス推進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【10次総の施策体系】2202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	平成26年度より、本市の本質的な魅力（鳥取市らしさ）を全国へ浸透させ、鳥取市ブランドの確立を目的としたシティセールス事業に取り組んでいる。平成29年に、中長期的なシティセールスの指針となる「鳥取市シティセールス戦略」を策定し、ブランドスローガン「SQのあるまち」を旗印に、鳥取市ブランドの確立を図るため各施策を展開している。		
(単位：千円)	平成30年度より、インターネット放送番組の制作・配信を実施。また、本市の魅力度及び都市イメージを高めることを目的に「SQのあるまち推進事業」を展開している。		
前年度当初予算額	7,521	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	10,122	鳥取市シティセールス戦略に沿った事業を展開し、「SQのあるまち」の浸透、鳥取市ブランドイメージの確立、市内外への情報発信等により、人や企業から選ばれるまち鳥取市を実現する。	
総務部長段階査定額	9,514	【事業の内容・実績】	
市長段階査定額	9,514	＜主な事業＞	
区分	本年度予算額	○SQのあるまち新本庁舎にぎわい創出事業	
国・県支出金	3,605	駅周辺地域に人のにぎわいを創出し、鳥取市役所本庁舎を活用した庁舎開庁1周年記念イベントを実施。	
地方債	0	○エリアプロモーション放送番組制作事業	
その他	0	地域コミュニティFM、YouTubeを活用し、麒麟のまち圏域の魅力を発信。	
一般財源	5,909	○SQのあるまち推進事業補助金	
計	9,514	鳥取市の魅力及び地域資源を活かした事業者や学生の活動に対する補助を新設。	
行財政改革課処理欄	＜実績＞		
		平成29年度 821千円 ブランドロゴ、クレドカード作成	
		平成30年度 4,794千円 インターネット放送6回、補助金交付4件	
		令和元年度 5,284千円 インターネット放送6回、補助金交付3件（見込）	

企006	項目名	環境大学運営費交付金	新規事業
予算書項目	公立大学法人運営事業費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012		
款 総務費	【10次総の施策体系】1102		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	鳥取県とともに共同設置した公立鳥取環境大学の運営経費の一部に充てるため、鳥取県と共同で大学運営費交付金及び大規模修繕等に係る施設整備費補助金を交付するものである。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	499,151	新生公立鳥取環境大学運営協議会を通じて大学の経営状態等をチェックし、必要な指示等を行うとともに、鳥取県とともに地方交付税の範囲内で大学運営費交付金及び施設整備費補助金を交付することにより、公立鳥取環境大学の安定的な運営を確保する。	
本年度要求額	552,566	【事業の内容・実績】	
総務部長段階査定額	526,772	公立鳥取環境大学の運営に必要な経費の一部について、大学運営費交付金を交付する。また、運営費交付金で措置する運営経費とは別に、緊急かつ大規模な修繕等の経費について、施設整備費補助金を交付する。	
市長段階査定額	526,772	令和2年度から始まる修学支援新制度（高等教育の無償化）について、大学の授業料等無償化（減免）にかかる経費を、大学運営費交付金（修学支援新制度分）として交付する。	
区分	本年度予算額	＜実績＞	
国・県支出金	0	運営費交付金 施設整備補助金	
地方債	0	平成29年度 467,177千円 47,285千円	
その他	0	平成30年度 469,862千円 43,523千円	
一般財源	526,772	令和元年度 458,463千円 37,859千円（見込）	
計	526,772		
行財政改革課処理欄			

企007	項目名	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費	新規事業
予算書項目	旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】政策企画課 0857-30-8012		
款 総務費	【10次総の施策体系】3203		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市庁舎機能移転後の旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に関しては、これまで「現本庁舎等跡地活用に関する庁内調整会議（平成27年10月～）」、市議会「本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会（平成30年2月～）」、有識者等で構成する「現本庁舎等跡地活用に関する検討委員会（平成30年8月～）」においてそれぞれ検討を行ってきた。 令和2年度からは新たな活用策を決定するため市民から意見を聴取する。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 旧本庁舎・第二庁舎跡地の活用策を決定するため、様々な方法で市民から意見を聴取する。		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	217	【事業の内容・実績】 ・ワークショップ、アンケート、有識者会議等を実施する。	
本年度要求額	7,398	<実績> 平成30年度 185千円 現本庁舎等跡地活用に関する検討委員会 3回 令和元年度 217千円(見込) " 3回	
総務部長段階査定額	7,398	【事業の内容・実績】 ・ワークショップ、アンケート、有識者会議等を実施する。	
市長段階査定額	7,398	<実績> 平成30年度 185千円 現本庁舎等跡地活用に関する検討委員会 3回 令和元年度 217千円(見込) " 3回	
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 ・ワークショップ、アンケート、有識者会議等を実施する。	
財源内訳	国・県支出金 0	<実績> 平成30年度 185千円 現本庁舎等跡地活用に関する検討委員会 3回 令和元年度 217千円(見込) " 3回	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 7,398		
計	7,398		
行財政改革課処理欄			

企008	項目名	市報発刊配布費	新規事業
予算書項目	広報紙発刊配布費	ページ	167
年度	R2	所 属 名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008		
款 総務費	【10次総の施策体系】5101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 とっとり市報は、昭和27年1月に第1号を発刊し、令和2年4月に第1116号を発刊予定。現在は、電子データ化しパソコンやスマートフォンでの閲覧が進展するよう取り組んでいる。		
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 令和元年実施の市民アンケート調査によると、本市から提供される情報の主な入手の手段としては、「とっとり市報・市議会だより」が72.7%と最も高くなっており、重要な広報媒体となっている。		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	59,113	【事業の内容・実績】 令和元年実施の市民アンケート調査によると、本市から提供される情報の主な入手の手段としては、「とっとり市報・市議会だより」が72.7%と最も高くなっており、重要な広報媒体となっている。	
本年度要求額	62,659	【事業の内容・実績】 (1)発行回数・・・市報：月1回1日発行 支所だより：市報に併せ発行 (2)発行部数・・・市報：65,200部 支所だより：15,050部 (3)規格・・・市報：A4判カラー32頁 支所だより：A4判二色刷り4頁 (4)配布方法・・・搬送業者が町内会の担当者宅へ届け、担当者が各世帯へ配布。 町内会未加入者は、各公共施設、スーパー、コンビニ等で入手可。 商業施設への設置は、シルバー人材センターへ委託。 市報配布箇所数・・・町内会等：1,261箇所 市報設置箇所数・・・公民館・商業施設等：190箇所	
総務部長段階査定額	62,659	【事業の内容・実績】 (1)発行回数・・・市報：月1回1日発行 支所だより：市報に併せ発行 (2)発行部数・・・市報：65,200部 支所だより：15,050部 (3)規格・・・市報：A4判カラー32頁 支所だより：A4判二色刷り4頁 (4)配布方法・・・搬送業者が町内会の担当者宅へ届け、担当者が各世帯へ配布。 町内会未加入者は、各公共施設、スーパー、コンビニ等で入手可。 商業施設への設置は、シルバー人材センターへ委託。 市報配布箇所数・・・町内会等：1,261箇所 市報設置箇所数・・・公民館・商業施設等：190箇所	
市長段階査定額	62,659	【事業の内容・実績】 (1)発行回数・・・市報：月1回1日発行 支所だより：市報に併せ発行 (2)発行部数・・・市報：65,200部 支所だより：15,050部 (3)規格・・・市報：A4判カラー32頁 支所だより：A4判二色刷り4頁 (4)配布方法・・・搬送業者が町内会の担当者宅へ届け、担当者が各世帯へ配布。 町内会未加入者は、各公共施設、スーパー、コンビニ等で入手可。 商業施設への設置は、シルバー人材センターへ委託。 市報配布箇所数・・・町内会等：1,261箇所 市報設置箇所数・・・公民館・商業施設等：190箇所	
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (1)発行回数・・・市報：月1回1日発行 支所だより：市報に併せ発行 (2)発行部数・・・市報：65,200部 支所だより：15,050部 (3)規格・・・市報：A4判カラー32頁 支所だより：A4判二色刷り4頁 (4)配布方法・・・搬送業者が町内会の担当者宅へ届け、担当者が各世帯へ配布。 町内会未加入者は、各公共施設、スーパー、コンビニ等で入手可。 商業施設への設置は、シルバー人材センターへ委託。 市報配布箇所数・・・町内会等：1,261箇所 市報設置箇所数・・・公民館・商業施設等：190箇所	
財源内訳	国・県支出金 6,501	<実績> 事業費・・・H29年度決算額 56,357,476円 H30年度決算額 58,052,560円 R元年度決算額 60,337,000円(見込)	
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 56,158		
計	62,659		
行財政改革課処理欄			

企009	項目名	市政広報費	新規事業																			
予算書項目	市政広報費	ページ	167																			
年度	R2	所 属 名	企画推進部 秘書課																			
会計名	事業の概要																					
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008																					
款 総務費	【10次総の施策体系】5101																					
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市民が行政情報を容易に取得できるように、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアを活用し、多様なニーズに対応した情報発信を行う。																					
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 さまざまなメディアの持つ特性を生かしながら、市政情報を市民に届けていくことは、本市の広報戦略上重要な課題であり、主に市内のマスメディアを活用して効果的な情報発信・情報提供を行っていく。																					
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組：毎週金・土曜日に30分番組を延べ20回、その他企画番組他 (2) 新聞・・・記事下広告：地元紙に年35段掲載 対談記事広告：市長対談記事を年1回掲載 (3) テレビ・・・スポットCM及び企画番組 (4) ラジオ・・・FM鳥取への番組委託 (市政広報番組、イベント情報番組など) (5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出																					
前年度当初予算額	47,881	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>54,742</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>54,983</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	241	一般財源	54,742	計	54,983							
区 分	本年度予算額																					
国・県支出金	0																					
地方債	0																					
その他	241																					
一般財源	54,742																					
計	54,983																					
本年度要求額	54,987																					
総務部長段階査定額	54,983																					
市長段階査定額	54,983																					
総務部長段階査定額	54,983	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>	その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	241	その他	0
その他財源の内訳																						
分担金	0																					
負担金	0																					
使用料	0																					
手数料	0																					
財産収入	0																					
寄付金	0																					
繰入金	0																					
贈収入	241																					
その他	0																					
行財政改革課処理欄		<p><実 績> 事業費・・・H29年度決算額 43,684,166円 H30年度決算額 40,401,049円 R 元年度決算額 47,858,000円 (見込)</p> <p>※その他財源の諸収入は、広告料収入。</p>																				

企010	項目名	鳥取市知名度アップ大作戦事業費	新規事業																			
予算書項目	市政広報費	ページ	167																			
年度	R2	所 属 名	企画推進部 秘書課																			
会計名	事業の概要																					
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-30-8008																					
款 総務費	【10次総の施策体系】2202																					
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少や地方分権の流れから地域間競争が激化することを見据え、平成20年度から知名度アップ事業を実施。「すごい！鳥取市」に続き、令和元年度から「それ、鳥取市だよ」をキャッチコピーとするシティプロモーションを展開し、全国的な認知度の向上に取り組んでいる。																					
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 本市の全国的な知名度・認知度の向上により、観光入込客数や移住定住者の増加を図るとともに、本市に在住する市民自身も、自信と誇りを持てる市民愛着度の向上につなげていくことで、住む人・来る人に愛され続ける鳥取市の実現を推進する。																					
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 本市の知名度、認知度、市民愛着度のさらなる向上を図るため、令和元年度からPR活動に優れたノウハウを有する民間事業者からの企画提案を受け、「すごい！鳥取市」にかわり「それ、鳥取市だよ」のプロモーションを開始。新しいキャラクター「トットリー氏」を効果的に活用し、興味喚起を促し、本市の認知度の向上、関係人口の増加につなげていく。																					
前年度当初予算額	20,558	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>19,856</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,856</td> </tr> </table>		区 分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	19,856	一般財源	0	計	19,856							
区 分	本年度予算額																					
国・県支出金	0																					
地方債	0																					
その他	19,856																					
一般財源	0																					
計	19,856																					
本年度要求額	19,856																					
総務部長段階査定額	19,856																					
市長段階査定額	19,856																					
総務部長段階査定額	19,856	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>19,856</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>	その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	19,856	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																						
分担金	0																					
負担金	0																					
使用料	0																					
手数料	0																					
財産収入	0																					
寄付金	0																					
繰入金	19,856																					
贈収入	0																					
その他	0																					
行財政改革課処理欄		<p><実 績> 事業費・・・H29年度決算額 22,616,987円 H30年度決算額 21,599,053円 R 元年度決算額 20,217,000円 (見込)</p> <p>※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>																				

企011	項目名	鳥取世界おもちゃ館施設管理費		新規事業
予算書項目	鳥取世界おもちゃ館運営委託費等		ページ	173
年度	R2		所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021			
款 総務費	【10次総の施策体系】3301			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	平成7年に開館したおもちゃと童謡をテーマとした文化施設。市所管の「鳥取世界おもちゃ館」と県所管の「県立童謡館」の複合施設。設立より（公財）鳥取童謡・おもちゃ館が管理運営を行っている。			
	【事業の目的及び効果】			
	指定管理者である（公財）鳥取童謡・おもちゃ館の管理運営により、おもちゃと童謡をテーマとした特色ある地域文化に資する施設として適切な管理を目指す。また、開館より20年以上が経過しているため、共同設置者である鳥取県と連携して修繕・設備更新を行い、利用者が安心して利用できる施設とする。			
(単位：千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額	90,120	(1) 鳥取世界おもちゃ館の管理運営業務		
本年度要求額	95,940	指定管理者：公益財団法人 鳥取童謡・おもちゃ館（期間：H31.4.1～R6.3.31）		
総務部長段階査定額	95,928	＜指定管理料実績＞		
市長段階査定額	95,928	平成29年度 指定管理料 73,694千円		
		平成30年度 指定管理料 73,667千円		
		令和元年度 指定管理料 75,639千円		
		【その他財源の内訳】		
		分担金	0	(2) 修繕工事等
		負担金	0	修繕工事等は県・市1/2ずつの費用負担（市は県に施工を委託）
		使用料	0	①収蔵庫恒温恒湿改修工事 16,311千円 8,156千円
		手数料	0	②アトリウムガラス飛散防止 21,189千円 10,595千円
		財産収入	0	③監視カメラ更新 1,691千円 845千円
		寄付金	0	合計 39,191千円 19,596千円
		繰入金	1,995	＜修繕実績＞
		贈収入	0	平成29年度 昇降機(1号機)改修他 30,875千円 15,437千円
		その他	0	平成30年度 事務室系統空調設備改修他 26,306千円 13,153千円
				令和元年度(見込) 空調設備修繕他 28,961千円 14,481千円
				※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。
行財政改革課処理欄				

企012	項目名	国際交流費		新規事業
予算書項目	国際交流促進費		ページ	173
年度	R2		所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022			
款 総務費	【10次総の施策体系】3204			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	本市の国際交流は、姉妹都市をはじめとする多くの都市と経済・文化・教育などの様々な分野にわたり行っている。国際交流の促進にあたって、特に各国の駐日大使館や総領事館、国際親善団体、経済団体などとの連携が重要となっている。			
	【事業の目的及び効果】			
	姉妹都市・交流都市などとの連絡調整、関係者の受け入れ及び市内国際交流団体の事業協力により国際交流の促進を図るとともに、多文化共生のまちづくりを推進する。			
(単位：千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額	977	○国際姉妹・交流都市などとの連絡調整、関係者の受入		
本年度要求額	3,441	・韓国・清州市との姉妹都市提携30周年記念事業の開催、訪問団の受入等		
総務部長段階査定額	3,368	・ロシア・ウラジオストク市制施行160周年記念事業への参加		
市長段階査定額	3,368	○市内国際交流団体の事業協力		
		○国際交流トークカフェの開催		
		＜実 績＞		
		平成29年度	233千円	
		平成30年度	2,897千円	(ブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典参加)
		令和元年度	977千円	(見込)
		分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

企013	項目名	国内都市交流総合推進費	新規事業
------	-----	-------------	------

予算書項目	国内交流推進費	ページ	173
-------	---------	-----	-----

所 属 名	企画推進部 文化交流課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

(単位：千円)

前年度当初予算額	1,042
----------	-------

本年度要求額	1,499
--------	-------

総務部長段階査定額	1,449	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

市長段階査定額	1,449	分担金	0
---------	-------	-----	---

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,449
計	1,449

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】都市交流係 0857-30-8022

【10次総の施策体系】5201

【事業の経過及び背景】
本市の国内都市交流は、姉妹都市提携の都市をはじめとする国内他都市との経済・文化・観光といった様々な分野で幅広い交流を展開している。

【事業の目的及び効果】
国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流を推進し、本市のPR活動を展開する。

【事業の内容・実績】
国内姉妹都市をはじめとして、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。また、令和2年度は、本市で開催される「第5回全国吉川交流会」の開催経費を一部負担する。

<実績>
平成29年度 169千円 県人会総会参加
平成30年度 214千円 県人会総会参加
令和元年度 1,042千円(見込) 県人会総会参加、新庁舎への姉妹都市展示コーナーの移転 など

企014	項目名	谷口ジロー顕彰事業費	新規事業	○
------	-----	------------	------	---

予算書項目	文化振興費	ページ	289
-------	-------	-----	-----

所 属 名	企画推進部 文化交流課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	教育費
項	社会教育費
目	文化振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	613
--------	-----

総務部長段階査定額	0	その他財源の内訳
-----------	---	----------

市長段階査定額	613	分担金	0
---------	-----	-----	---

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	122
地方債	0
その他	0
一般財源	491
計	613

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】文化交流課 0857-30-8021

【10次総の施策体系】3301

【事業の経過及び背景】
本市は、本市出身の漫画家であり、本市文化賞受賞者である谷口ジロー氏の功績を顕彰するため、平成20年度から平成25年度まで原画展、フォーラム、座談会、サイン会などを開催した。
令和3年は谷口氏の漫画家デビュー50周年にあたることから、「まんが王国とっとり」を推進する鳥取県や出版社、著作権管理団体等が連携し、来年度実施を目的に、改めて谷口氏の功績を顕彰する取組が進められている。また、谷口氏と親交のあった地元民間関係者有志が中心となり、新たな顕彰組織の設立に向けて準備を進めている。

【事業の目的及び効果】
鳥取県や民間関係者等の動きに呼応し、本市もフランスをはじめ海外で高く評価されている谷口氏の功績を顕彰することにより、外国人を含めた観光客の誘客や市民の認知度の向上を図り、地域の活性化につなげる。

【事業の内容】
新たに設立される民間顕彰組織との共同企画により、谷口氏の功績、作品並びに本市を舞台にした作品である「父の暦」に登場するスポットを、作品の場面とともに紹介するガイドマップを制作し、観光案内所等を通じて幅広く配布する。

企015	項目名	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	新規事業
予算書項目	麒麟のまち日本遺産魅力発信推進事業費	ページ	289
年度	R2	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-30-8021		
款 教育費	【10次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 日本遺産は地域に点在する有形・無形の文化財を面としてパッケージ化し、我が国の伝統を語る「ストーリー」を文化庁が認定するものである。麒麟のまち圏域では、圏域に受け継がれる麒麟獅子舞を生かしたストーリー等を作成し、平成31年1月に日本遺産申請を行い、審査の結果、認定となった。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 日本遺産は、有形・無形の文化財群を地域が総合的に整備・活用し、国内外へ発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としている。 日本遺産の認定により、圏域住民の関心が高まり、文化財等の保護・保存と次世代への継承が進むとともに、新たな観光客層の掘り起こしや観光商品の開発・販売により収益性が高まることで、圏域の活性化につながる事が期待される。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 日本遺産「麒麟のまち」推進協議会を主体とする日本遺産ストーリーを生かした情報発信、人材育成、普及啓発、公開活用のための整備に係る各種事業の経費を負担する。		
前年度当初予算額	0	＜実績＞ 令和元年度 推進協議会負担金 15,980千円(見込) " 貸付金 24,600千円(見込)	
本年度要求額	28,593	【その他】 国からの推進協議会への補助金の受領時期が年度後半となることを見込まれることから、事業実施に支障をきたすため、当該経費を市が推進協議会に貸付し、補助金受領後に貸付金全額を市に返還させる。	
総務部長段階査定額	28,593	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。 ※その他財源の諸収入は、貸付金元利収入。	
市長段階査定額	28,593	【事業の経過及び背景】 平成9年4月1日に、国際交流プラザと湖山西地区公民館の複合施設として「学習・交流センター鳥取」がオープンし、施設管理等を国際交流プラザが行っている。	
区分	本年度予算額	【事業の目的及び効果】 「学習・交流センター鳥取」の全般的な施設の維持管理を行い、市民等がいつでも気軽に交流・学習等ができる場を提供する。	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 24,589 一般財源 4,004 計 28,593	【事業の内容・実績】 施設の維持管理 ・施設管理委託(清掃作業、建物警備、設備保守点検など) ・光熱水費、修繕、維持管理経費等	
その他財源の内訳	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 3,646 諸収入 20,943 その他 0	＜実績＞ 平成29年度：10,402千円 平成30年度：11,625千円 令和元年度：10,122千円(見込)	
行財政改革課処理欄	※その他財源の諸収入は、自動販売機電気使用料。		

企016	項目名	学習・交流センター施設管理費	新規事業
予算書項目	学習・交流センター施設管理費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253		
款 総務費	【10次総の施策体系】3204		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成9年4月1日に、国際交流プラザと湖山西地区公民館の複合施設として「学習・交流センター鳥取」がオープンし、施設管理等を国際交流プラザが行っている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 「学習・交流センター鳥取」の全般的な施設の維持管理を行い、市民等がいつでも気軽に交流・学習等ができる場を提供する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 施設の維持管理 ・施設管理委託(清掃作業、建物警備、設備保守点検など) ・光熱水費、修繕、維持管理経費等		
前年度当初予算額	10,122	＜実績＞ 平成29年度：10,402千円 平成30年度：11,625千円 令和元年度：10,122千円(見込)	
本年度要求額	11,673	※その他財源の諸収入は、自動販売機電気使用料。	
総務部長段階査定額	11,641	【事業の経過及び背景】 平成9年4月1日に、国際交流プラザと湖山西地区公民館の複合施設として「学習・交流センター鳥取」がオープンし、施設管理等を国際交流プラザが行っている。	
市長段階査定額	11,641	【事業の目的及び効果】 「学習・交流センター鳥取」の全般的な施設の維持管理を行い、市民等がいつでも気軽に交流・学習等ができる場を提供する。	
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 施設の維持管理 ・施設管理委託(清掃作業、建物警備、設備保守点検など) ・光熱水費、修繕、維持管理経費等	
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 38 一般財源 11,603 計 11,641	＜実績＞ 平成29年度：10,402千円 平成30年度：11,625千円 令和元年度：10,122千円(見込)	
その他財源の内訳	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 諸収入 38 その他 0	※その他財源の諸収入は、自動販売機電気使用料。	
行財政改革課処理欄			

企017	項目名	有線テレビジョン放送施設管理費	新規事業
予算書項目	有線テレビジョン放送施設管理費	ページ	173
年度	R2	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026		
款 総務費	【10次総の施策体系】5401		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 平成12年度に合併前の鳥取市の農村部、平成18年度に合併地域のCATV網を公設民営で整備し運営を行う。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 本市が所有する有線テレビジョン放送施設の適正な運営と維持管理を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	115,103	(1) 局舎等敷地賃借料の管理	
本年度要求額	128,650	(2) 自営柱借地料の管理	
総務部長段階査定額	127,487	(3) 電柱共架料及び共架調査費の管理	
市長段階査定額	127,487	(4) 伝送路等管理・補修業務の委託	
区分	本年度予算額	(5) コミュニティデータ放送システム業務	
国・県支出金	0	(6) 伝送路移設費の管理	
地方債	0	(7) 電気代(サブセンター・伝送路(合併地域))の管理	
その他	76,935	(8) 伝送路無停電装置バッテリー交換	
一般財源	50,552	(9) 鳥取市CATV設備更新基本計画策定業務	
計	127,487	<実績>	
行財政改革課処理欄		平成29年度 127,468千円 平成30年度 114,415千円 令和元年度 126,320千円(見込)	
		【今後の取り組み】 長期安定的な事業運営のため、適切な維持管理を継続し実施していく。 設備の老朽化に伴い、伝送路設備の更新を計画的に行う必要がある。	
		※その他財源の諸収入は、CATV局からの設備使用料及び国・県からの移設補償金等。	

企018	項目名	庁内LANシステム管理費	新規事業
予算書項目	内部情報システム管理費	ページ	179
年度	R2	所 属 名	企画推進部 情報政策課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】情報システム係 0857-30-8027		
款 総務費	【10次総の施策体系】5401		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 庁内LANは平成13年度から段階的に整備し、平成15年度には全庁の整備を完了。令和元年度には新本庁舎ネットワークを整備し安定した情報基盤の管理運用を行う。		
目 電算処理費	【事業の目的及び効果】 各種情報化施策を推進するため、その共通基盤となる庁内LANシステム及び端末の障害対応等、正常な稼働を確保するための適切な管理を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	227,062	(1) 庁内LANシステム接続端末のハード障害に伴う修繕及びデータの滅失回避サポート	
本年度要求額	215,727	(2) 庁内LANシステム配線の新設、移転に伴う修繕	
総務部長段階査定額	214,342	(3) 拠点間接続に係る回線使用料	
市長段階査定額	214,342	(4) 庁内LANシステムの運用支援委託	
区分	本年度予算額	(5) 庁内LANシステムのセキュリティ対策(不正アクセス、ウィルス攻撃への対策)	
国・県支出金	0	(6) 庁内LANシステム装置の保守委託	
地方債	0	(7) 庁内LANシステム端末機の賃借	
その他	0	(8) 庁内LANシステム接続端末のOffice使用权の更新	
一般財源	214,342	<実績>	
計	214,342	平成29年度 142,653千円 平成30年度 152,522千円 令和元年度 227,590千円(見込)	
行財政改革課処理欄		【今後の取り組み】 庁内LANシステムの安定稼働のため、適切な管理運用を継続的に行う。 各総合支所のネットワーク環境を本庁舎と同等な環境にするため順次設備更新を行う。	

企019	項目名	鳥取県自治体ICT共同化推進協議会事業費		新規事業																				
予算書項目	電算事務費	ページ	179	所 属 名																				
年度	R2	企画推進部 情報政策課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8027 【10次総の施策体系】5401																							
款 総務費	【事業の経過及び背景】 鳥取県自治体ICT共同化推進協議会会則（平成27年5月12日施行） " 広域連携協約（平成28年4月1日締結） 鳥取市と鳥取県との間の地方公共団体における情報通信技術の共同化に関する事務の委託に関する規約（平成29年4月1日施行）																							
項 総務管理費	【事業の目的及び効果】 鳥取県及び県内市町村で構成する「鳥取県自治体ICT共同化推進協議会」において、行政体制の維持、事務の効率化のため、業務や情報システムの標準化、共同化による経費削減、情報システム運用上の安全性の確保、人材育成等を目的に県内のICT部門の連携を行う。																							
目 電算処理費	【事業の内容・実績】 (1) 共同で取り組む情報システムの整備及び運用等に関すること (2) 情報セキュリティに係る脅威に対する適切な対策に関すること (3) 行政職員におけるICT分野の人材育成に関すること (4) その他協議会の目的達成に必要な事業 <具体的事業> ①行政イントラシステム（協議会調達） ②（鳥取県市町村共同利用型）電子申請・届出システム（協議会調達） ③（鳥取・岡山）自治体セキュリティクラウド（鳥取県調達） ④インターネット回線の共同調達（鳥取県調達） <実績> 平成29年度 12,343千円 平成30年度 12,331千円 令和元年度 12,737千円（見込）																							
(単位：千円)	【今後の取り組み】 情報システムの共同化は、効率的な情報システム運用の手法の一つとして有効であることから、継続して検討を進めていく。																							
前年度当初予算額	12,737	行財政改革課処理欄																						
本年度要求額	12,602																							
総務部長段階査定額	12,579	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
市長段階査定額	12,579	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>12,579</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12,579</td> </tr> </table>			区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	12,579	計	12,579								
区分	本年度予算額																							
国・県支出金	0																							
地方債	0																							
その他	0																							
一般財源	12,579																							
計	12,579																							

企020	項目名	自治体行政スマート事業推進費		新規事業	○																				
予算書項目	情報通信技術利活用促進事業費	ページ	179	所 属 名																					
年度	R2	企画推進部 情報政策課																							
会計名	事業の概要																								
一般会計	【問合せ先】情報政策係 0857-30-8026 【10次総の施策体系】5401																								
款 総務費	【事業の経過及び背景】 多様化する市民サービスと労働力不足の課題への対策として、ICT技術を利用した次世代情報システムの導入に向けた調査・検討を進めてきた。																								
項 総務管理費	【事業の目的及び効果】 ICT技術を利用した次世代情報システム（AI、RPA）の活用による、行政事務の効率化と市民サービスの向上を図る。 これまで人手で行ってきたデータ入力業務を、次世代情報システムを利用することで、事務の省力化、効率化、高速化を実現し、職員負担の軽減による働き方改革につなげる。																								
目 電算処理費	【事業の内容】 (1) RPAツールの導入 L2WAN系ネットワークおよび住民情報系ネットワークそれぞれにRPAツール（クラウド型）を1台ずつ構築し、効果の高い業務から順次、事務の移行を進めていくことで、職員を単純業務から解放し、専門業務に専念させることができる。 (2) AI議事録ツールの導入 各課で必要に応じて行っている、会議議事録の作成について、AI議事録ツールを導入することで、作成にかかる時間及び負荷を軽減し、市民への情報提供を迅速化させ、あわせて職員を専門業務に専念させることができる。																								
(単位：千円)	【今後の取り組み】 事務の効率化及び市民サービス向上のため、最適なシステムの導入を行い、対応業務を拡大していく。																								
前年度当初予算額	0	行財政改革課処理欄																							
本年度要求額	10,161																								
総務部長段階査定額	9,189	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>				その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																									
分担金	0																								
負担金	0																								
使用料	0																								
手数料	0																								
財産収入	0																								
寄付金	0																								
繰入金	0																								
贈収入	0																								
その他	0																								
市長段階査定額	9,189	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>9,189</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,189</td> </tr> </table>				区分	本年度予算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	9,189	計	9,189								
区分	本年度予算額																								
国・県支出金	0																								
地方債	0																								
その他	0																								
一般財源	9,189																								
計	9,189																								